

## とうきょうすくわくプログラム 活動報告書

施設名	清瀬上宮保育園
所在地	清瀬市竹丘3-8-1

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

けやきの木に親しもう

<テーマ設定の理由>

何十年前から保育園の園庭に大きなけやきの木がある。しかし、老朽化に伴い伐採することとなった。そのことを子どもたちに伝えると、「切ったけやきの木で遊びたい」という声があがった。長年園にあった木に親しみを感じながら関われるよう、伐採したけやきの木を使った活動を行うことにした。



### 2. 活動スケジュール

7月・・・けやきの伐採

7月・・・「観察してみよう」～けやきの木ってどんなだろう？五感で楽しむ！～

7月・・・「切ってみよう」～のこぎりで枝を切ってみる～

8月・・・「作ってみよう」～自分だけの作品作り～

12月・・・「遊具にしよう」～いつも身近に～

### 3. 探求活動の実践

<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

「観察してみよう」・・・軍手・みるみるジャンボメガネ（場所：園庭）

「切ってみよう」・・・のこぎり・軍手・サンドペーパー（場所：ベランダ）

「作ってみよう」・・・ビーズ等の飾り・ボンド・絵の具・マグネット・サンドペーパー（場所：保育室）

「遊具にしよう」・・・軍手・布ヤスリ・ヤスリホルダー・木材保護剤・刷毛（場所：園庭）

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

①「観察してみよう」 <4・5歳児> 7月14日

けやきの木の丸太を園庭に置き、子どもたちは実際に触れたり匂いをかいだりしながら観察した。「かたい」「ザラザラしている」「フカフカして柔らかいところもある」などの感触の違いに気づいたり、腕を回して大きさを確かめたりする姿が見られた。

また、丸太を持ち上げようとして「重い!」「友だちと一緒にでも動かない」など、重さにも驚いていた。匂いをかいで「ハムスターみたいな匂いがする」と感じた子もいた。

観察メガネで表面を見ると「ボコボコしている」と発見を伝え合う姿があり、年輪の意味を知ると実際に数えながら「30」「27」など興味深く観察していた。

丸太に触れた経験から「椅子にしたい」「家を作りたい」「切ってみたい」「船にしたい」「砂場のテーブルにしたい」など、子どもたちから次にやってみたいことが自然と出てきた。



②「切ってみよう」 <5歳児> 7月18日

子どもたちの「切ってみよう」という声を受け、のこぎりを使って枝を好きな大きさに切る体験を行った。見た目は細い枝でもなかなか切ることができず、けやきの木の硬さに驚く姿が見られた。自分で切った枝を友だちと見せ合いながら「硬かったね〜」「上手にできた」と満足そうに話していた。



③「作ってみよう」 <2～5歳児> 8月4日～8日

切った枝をやすりで整え、ビーズやポンポン等を飾り付けてオリジナルのマグネット作りを行った。けやきの木の枝を切ったものはささくれ等なくなめらかで、やすりがけも少しで済み、2・3歳児でも自分で取り組むことができた。

いろいろな飾りの中から好きなものを選び、思い思いに飾り付けを楽しみ、自分だけのマグネットが完成したことを喜んでいた。



また2歳児グループでは、散歩で集めたドングリに顔を描いたものを余った木にくっつけ、保育室に飾って自由に触れるようにすることで、木への親しみを深めることができた。



#### ④「遊具にしよう」 <5歳児> 12月22日(月)

観察した3つの丸太の状態(痛み具合等)を考慮し、子どもたちから出ていた案の中から“砂場のテーブル”として活用することにした。

5歳児が丸太の表面をやすりがけし、その後保育者が木材保護剤を塗った。完成したテーブルを見て小さい子たちも喜び、砂場で作った料理を並べるなどして楽しんでいる。

子どもたちからは「あそこにあっけやきの木なんだよね」という声が聞かれ、園の木への親しみを感じながら遊ぶ姿が見られている。



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た気づき>

自分たちの園にあっけやきの木という身近な自然物に実際に触れられた経験は、子どもたちにとって大きな刺激となった。活動を通して木への興味が深まり、散歩先でも木を意識して観察する姿が増えた。切り株をみつけると年輪を数えたり、木に触れて「硬いから元気そう」「フカフカしているから痛んでいるかも」と推測するなど、活動を通して知ったことや気づいたことが日常の遊びや観察にもつながっている。子どもたちの「なぜ?」「おもしろい!」「やってみよう!」という気持ちを大切にして活動を進めたことで、いろいろな発見や気づきが自然に生まれ、意欲的に取り組む姿が見られた。子どもたちの気づきや思いに共感し寄り添うことが、さらなる好奇心や探求心へとつながっていくことを実感した。